

平成 25 年度第 4 回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 25 年 12 月 21 日（土）13：15～14：00

開催場所 鎌取コミュニティセンター 3 階多目的ホール

出席者 委員 20 名中 17 名出席、ガイドヘルパー 1 名
事務局 9 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 3 人、緑区地域振興課 1 名、社協緑区事務所 2 名、市地域福祉課 2 名）

【次 第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題
 - （1）平成 25 年度 緑区地域福祉計画の推進について
 - （2）「みどりのきずな」22 号の承認について
- 4 その他
- 5 閉会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）平成 25 年度緑区地域福祉計画の推進について

岡本委員長の進行により各委員から活動報告があった。

①報告事項

主な発言内容は以下のとおり。

（岡本副委員長）資料 4 に沿って進めたい。

（田宮副委員長）コミュニティ懇談会を開催した。12 月に「子どもの貧困について」というテーマで千葉明德短期大学教授の山野先生に講演いただいた。良い内容だった。報告書をまとめている。

（中村輝委員）おゆみ野地区部会の報告をする。11 月 14 日に高齢者福祉委員会でいきいきサロンを行った。末広地区の奇術会からボランティアで参加してもらった。12 月 11 日にクリスマス会も行った。90 名の参加があった。年内のいきいきサロンは終了し、来年は 2 月と 3 月の第 2 木曜日に行く。ボランティア委員会主催でふれあい散歩クラブを立ち上げた。11 月 8 日に行い、天気がよかったので 20 名の参加があった。緑区役所の前から 2 キロほど散歩をした。閉じこもりがちな高齢者に出てきてもらい、散歩を行った。歩くスピードに合わせ 3 グループの設定を行った。

（松戸副委員長）おゆみ野地区連協は自治会の結成を充実しようとしている。55 団体あるが、さらに 5 団体増やそうとしている。各自治会がどのような活動をしているか、中学校区ごとにまとまって勉強会をした。見守り・助け合い運

動についても周知を図っている。

- (岡本委員長) 椎名地区の報告を行う。ふれあい事業と学力強化授業支援、食育授業支援、伝承遊びを進めている。いきいきサロンも月1回行っている。
- (鴫田委員) 503地区民児協の報告を行う。古市場団地の見守り委員会を支援している。順調に進んでいる。12月1日からネームプレートを作って2人1組でまわっている。
- (小山委員) 避難所運営委員会を立ち上げて170人で防災訓練をした。その反省会でいろいろな意見が出た。手順や時間配分等、意見が出た。11月9日に運営規約を作成した。11月17日の会議では行政への不満が出た。職員の参加が積極的ではなかった。行政との話を進めていくことになった。1月25日の会議ではプールの水や体育館の利用について利用マニュアルを作成することになっている。介助犬等の取り扱いも定めていきたい。
- (廣田委員) 私の知っている限りでは介助犬を使っている方は緑区にはいない。これから引っ越してくる可能性はある。
- (中村和委員) 有償運送サービスの3つの目標を立てている。登録会員数は138名で目標達成は厳しい。曜日別のバラツキの解消については全体の75%は通院関係の運送なので病院の休日に関係してくる。事務処理の日に充てることにしている。月をまたぐ時には独居高齢者に確認の電話を入れることにしている。
- (稲山委員) 土気地区部会の報告を行う。広報紙を10月31日に各戸配布した。いずれカラー刷りにしたいと思う。次に福祉フェスティバルをバースモールで行った。2日間予定していたが、2日目が嵐で中止になった。11月23日に昭和の森でウォークラリーを行い153名の参加があった。他の行事を重ねなければもっと参加者が増えた可能性がある。プラザ祭りは11月23日24日に行った。パネル展示と折り紙遊びを子ども達に教え喜んでもらえた。子育てサロンでは救命講座を日赤から講師を招き行った。赤ちゃんの人体模型で初めておこなった。11月3日に区民祭りに参加した。サロンは19箇所で行っているが、下大和田地区でボランティアが不足し、サロンが休止した。その代わり高津戸で新しいサロンが誕生した。
- (江澤委員) 土気見守りネットワークを立ち上げている。町内会長が1年でやめるので連携が取りにくい。民生委員としては独居高齢者の見守りをしている。パトロールを夏冬の年2回しているが天候が悪く実施できなかった。
- (岡本委員長) 見守りは進めているか。
- (江澤委員) 全体ではまだ進めていない。民生委員が独居高齢者をみている。
- (松戸副委員長) 150名の声かけはどのくらいしているか
- (中村和委員) 利用者月50名程度に声かけしている。頻繁に利用している人には週1回声かけしている。NPOとしての仕事で会員に声かけしている。要介護や要支援を会員にしている。
- (廣田委員) 障害者団体の報告を行う。おゆみ野に盲導犬を持っている人がいると聞いている。視覚障害も聴覚障害も肢体不自由者も障害者の団体に入っている人は1割に満たない。どんな方が地域にいるのか掴むのが大変である。障

害者の生活等がどういうものか知ってもらいたいし、広めていきたい。11月2日～4日までツインビルの5階で障害者作品展があった。200点の書道や写真等の作品が出品した。375人が見学してくれた。9月17日にシダックス千葉誉田の協力で障害者のカラオケ交流会を行った。10数人集まった。11月1日市政だよりに千葉市障害者福祉大会の告知をして11月7日に行った。来年度から中日のコーチ立川氏の講演をし多くの方が参加した。あすみが丘第3自治会でも無事ですタオルを作成した。

(江澤委員) 無事ですタオルを出すと独居高齢者と周りに分かってしまう問題点もあると思う。

(石本委員) ときわ園の報告を行う。コミュニケーションを目標にしている。地域との交流でボランティアの受け入れをしている。これまでの経緯で、7月の納涼祭、9月15日の敬老会には近隣のご家族やボランティアも参加してもらった。敬老会では千葉市の新しい補助金制度が利用しやすかった。地域のボランティア4グループに散歩時に参加してもらっている。その他は音楽系のボランティアに来てもらっている。実習生の受け入れは介護福祉士の養成や教員、特別支援学級の受け入れをした。有吉中では職場体験の打診はあったが、希望者がいなかった。以前は土気中からも職場体験の申し出があったが、最近はなくなった。ときわ11月号に小谷小の交流を載せている。

(岡本委員) 古市場団地お元気確認委員会やおゆみ野地区の見守りと鎌取町内会の見守りに関わっている。

(烏山委員) 誉田あんしん会議を2ヶ月に1回行っている。民生委員と自治会長、社協が参加している。土気高校で認知症サポーター養成講座を行った。高校生が認知症をよく学んでくれた。

(布施委員) あんしんケアセンター土気では見守り会議を民生委員と社協といきいきセンターと月1回行っている。

(関本委員) 誉田の中で鎌取地区だけ見守りが進んでいる。

議題(2)「みどりのきずな」22号の承認について

「みどりのきずな」第22号について説明があった。

主な発言内容は以下のとおり。

(中村和委員) この内容でよろしいか。来年1月上旬に発行する。

～一同賛成～

その他

(事務局) 地域振興課から平成26年度分の地域活性化支援事業の募集について申込期間が決まったので積極的に利用して欲しい。

委員長が閉会を宣し、第4回緑区地域福祉計画推進協議会は散会。